

□平成 29 年度 鹿山文庫講演会

安政 2 年の佐倉藩士大坂在番日記

日時：平成 29 年 11 月 25 日(土)午後 2 時～

会場：佐倉高校地域交流施設研修室

講師：佐倉藩年寄部屋日記を読む会 竹村 道央氏(昭 34 年卒)

昭和 16 年佐倉市生まれ。昭和 34 年佐倉高卒、都立大大学院工学研究科修了、大日本インキ化学工業(株)

[現 DIC(株)]に勤務。平成 10 年佐倉市立中央公民館の佐倉藩御用留解読講座受講を契機として古文書解読に携わり、平成 22,23 年に佐倉市史研究(佐倉市発行)に佐倉藩士栗原幾三郎「大坂在番日記」を掲載。

【概要】佐倉藩堀田家の所領 11 万石のうち出羽国(羽州)は 4 万石で、そのうち売払うための大坂廻米は、大坂に蔵屋敷を設けていない佐倉藩では、酒田湊から大坂への着船にあわせ佐倉から役人が派遣され、米の売払い業務終了後に帰任するという「大坂半ヶ年在藩制」でした。

講演では、安政 2 年(1855)に佐倉から派遣された佐倉藩士栗原幾三郎が書いた日記に基づき、佐倉藩の米の売払い状況や旅の様子などについて、ユーモアを交えたわかりやすい講義に 30 人を超える聴講生は、真摯にそして楽しく聞き入っていました。

□佐倉高校記念館の内部特別公開

日時：平成 29 年 11 月 25 日(土)午後 1 時～4 時

国登録有形文化財の記念館は通常非公開ですが、創立記念日(11 月 10 日)にちなんで毎年特別公開されています。今年は 60 人の卒業生が訪れ、懐かしい学び舎に“あの頃の自分”を思い起こしていたようです。



□図書館棟のない風景(11/25 撮影) 図書館棟の取り壊しが終わりました。



□佐倉高の晩秋風景(11/25 撮影) 佐倉高の紅葉。素敵です。来年はぜひ、記念館公開とともに、佐倉高の秋を楽しんではいかがでしょうか。



□直筆書、校内で初展示 卒業生の栗原さん寄託 佐倉高の創始者・堀田正順 千葉日報2017年11月8日

藩校創設者である堀田正順公の掛け軸「呑舟之魚不遊枝流」寄託展示が千葉日報で紹介されました。会報13号1頁

参照 注：「遊」は「游(泳)」の代用字



□フリーマガジン「JP12」第 2 号に『県立佐倉高校物語』

2017/07/28「JP12」第 2 号。発行部数 30,000 部。

千葉の心は佐倉にあり～藩校からスーパーハイスクールへの道～県立佐倉高校物語。全 4 ページにわたって紹介されています。特集は北総四市(佐倉、成田、香取、銚子)です。

もう店頭にはないかもしれませんが、ホームページでご覧になれます。『JP12』検索。デジタルブックのタグをクリック⇒夏号をクリックしてご覧ください。

